9　外国語

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	6	第１学年	Vivid　Ⅰ「第一学習社」

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅰの授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に英語を使い、活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2　学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第１学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（６単位）
主な教材：上記科目の教科書および単語帳の副教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりしたことについて、簡潔な英語で積極的に表現できるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ 音読テスト ショート・スピーチ ペアワーク	・聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりしたことについて、英語表現の基礎的なルールに従って、簡潔な英語で書くことができるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ ライティングテスト 定期考査	・事物や出来事に関する紹介や対話などを聞いて、主だった情報や考えの概要をとらえることができるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	・エッセイや論説、物語を読んで、主な情報や要点、筆者の考え方や意見、内容の文化的な背景や社会的な背景などをとらえることができるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ リーディングテスト 音読テスト 語彙力テスト 定期考査

3　学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (9 時間)	・You Can Do Something for the Olympics	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・オリンピックについての情報を英語で観光客に紹介できるようになる。	・本文で用いられている英語表現を使用してワークシートに記入し、ペア、またはグループで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・日本でのオリンピックの歴史や、古代と近代におけるオリンピックの在り方の違いについて理解を深める。 ・現在，過去,未来，進行形の表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在，過去,未来(will，be going to),助動詞のそれぞれの意味や働き,形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (10 時間)	・Stories behind Names	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・名前の持つ意味についての英語を聞いてグラフを完成し、その内容に自分の意見や感想を加えて発表する。	・名前の持つ意味について分かったことや感想をワークシートに記入し、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・自他の名前の由来について考えさせる。 ・進行形，不定詞，SVO(that 節)の表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・自他のプロフィールを発表することができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (10 時間)	・Look Cool on Your Streets	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ストリートファッションについて、本文から分かったことをペアで伝え合う。	・本文で用いられている表現を使い、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペア・ワークで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・ファッションに対する自分の考えについて考える。 ・現在完了形，受け身，SVO(that 節)を用いて文を作る。	・海外のファッションに対する考えについて英語を聞いて表を完成し，その内容を発表する。 ・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在完了形，受け身，SVO(that 節)のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (10 時間)	・Our Actions Can Make Electricity	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・エネルギー発電の問題点について，自分の意見を発表することができる。	・本文で用いられている表現を参考にしながら、日本文化についてワークシートを記入し、ペアで伝え合う。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・比較，SVO＋to 不定詞，疑問詞＋ to 不定詞の文型を用いて文を作る。 ・速水浩平さんが提案する発電方法について知る。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較，SVO＋to 不定詞，疑問詞＋ to 不定詞の文型のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (10 時間)	・Laughter Is the Best Medicine	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・笑いが健康にもたらしている影響について、本文から読み取ったことをペアで伝え合う。	・本文で用いられている表現を使い、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペア・ワークで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動を T. T. で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・現在分詞，過去分詞，関係代名詞（主格）を用いて文を作る。 ・笑いの効用についてについて知る。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在分詞，過去分詞，関係代名詞（主格）のそれぞれの意味や働き，形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (10 時間)	・Take a Chnce on You	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・アンジェラアキさんの夢に向かう姿や、若者へのメッセージを本文中の表現を使って説明する。	・本文で用いられている英語表現を使用し、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペアで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動を T. T. で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係代名詞（目的格），It is…(for A)to~，過去完了形，関係代名詞 what の表現のそれぞれの意味や働き，形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係代名詞（目的格），It is…(for A)to~，過去完了形，関係代名詞 what の表現を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (10 時間)	・Japanese Dishes from Abroad	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・フードマイルの意味や、フード丸運動の問題点を本文中の表現を使って説明する。	・本文で用いられている英語表現を使用し、ワークシートを用いてストーリー・リテリングをペアで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・SV(be動詞)C(that節), 現在完了進行形, SVO(疑問詞節), It is 形容詞＋that 節のそれぞれの意味や働き, 形を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・SV(be 動詞)C(that 節), 現在完了進行形, SVO(疑問詞節), It is 形容詞＋that 節を用いた表現を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (10 時間)	・The Sphinx in Danger	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・スフィンクスに影響を及ぼしている塩害や、その原因を説明することができる。	・本文で用いられている英語表現を使用し、ワークシートを用いてウチナーグチについての説明をペアで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係副詞, SVOO(that 節), SVOO(疑問詞節)のそれぞれの意味や働き, 形を理解する。 ・生活が環境に与える影響について考える。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係副詞, SVOO(that 節), SVOO(疑問詞節)のそれぞれの意味や働き, 形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (10 時間)	・A Bridge Between Japanese and te U.S.	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・テイラー・アンダーソンさんの人生について説明することができる。	・本文で用いられている英語表現を使用し、ワークシートを用いてウチナーグチについての説明をペアで練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・強調構文, SVOC(原形不定詞), 助動詞＋受け身, SVOC(現在分詞)のそれぞれの意味や働き, 形を理解する。 ・住んでみたい国について発表させる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・強調構文, SVOC(原形不定詞), 助動詞＋受け身, SVOC(現在分詞)のそれぞれの意味や働き, 形を理解している。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。